

■坂小学校区 第1回きずなづくりトークの意見概要と方向性

テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」(※●は市長発言)

7月16日 坂公民館

発言者	現況・課題	対応策・要望
◆第1部「地域座談会」		
台崎町内会	○防災訓練では、消火訓練などを実施。 ○地域での防災訓練は15軒全戸参加。	○避難所訓練を行ったらどうか検討。
元山中自治会	○錦田中リーダー研修会で体育館避難を経験したが、暑さが厳しく大変だった。暑さ対策も重要。 ○一週間ほどの食糧なら買いためし、この地域は隣近所で何とかなる。 ○消火用水は飲用水にも使用可能。大タンクなので一週間から10日はもつ。	○避難生活は出来れば町内、公民館等を利用したい。
三ツ谷自治会	○8月に防災訓練を行う。AED訓練、講習会、消火栓使用訓練等を行う。 ○飲用水ペットボトル100ケース購入。 ○250名ほどの参加がある。	
市山新田自治会	○8月に防災訓練を行う。消火器や講習会等を行う。 ○三ツ谷地区が午前、市山新田が午後実施。	
笹原町内会	○年2回防災訓練を実施。 ○5月に消防団と一緒に消火栓から直接ホースをつなぐ訓練を実施。 ○9月に消火器、可搬ポンプ等の訓練予定。 ○住民のおよそ半分が参加。 ○防災倉庫にアルファ米300食備蓄あり。	○一番心配しているのは食糧と水。水をもう少し購入したい。 ○浄水器など高額なものについては市の補助をお願いしたい。
山中町内会	○毎月一回、消火栓・可搬ポンプ訓練を防災委員長の指導のもと実施。 ○水はタンクが3つあり、何とかなる。 ○防災訓練は8月実施予定。消火器や炊き出し訓練を行う。	○高齢化していることもあり、毎月行うことで操作を忘れないようにしている。
箱根坂自治会	○箱根坂は8割が60歳以上の高齢化地区。 ○被害想定参考は南海トラフ情報と阪神淡路大震災。 ○防災訓練の意義は「生き残る訓練」。 ○圧死しないため家具の固定を全戸で実施。半壊・全壊建物からの救出機材を揃え、救出訓練、救急措置法の訓練、救急	○避難所の情報が全くない。収容人数、水や備蓄の量、設備、備品、避難所に行っても良い人悪い人、運営の仕方等知りたい。 ○避難所運営の事前打ち合わせがあればぜひ参加したい。

	<p>要請体制（車両通行不可時はバイク隊結成）を制定。</p> <p>○初期消火のため市の補助金を利用し、消火器を全戸設置。</p> <p>○防災訓練は年2回。4月に防災倉庫の点検を行った。防災倉庫に各家庭の貴重品を集め身一つで逃げられる体制にしている。10月に防災訓練実施予定。昨年は消火訓練、夜間救出訓練、照明訓練、簡易担架による搬送訓練等を行った。</p> <p>○市の補助金を利用し発電機購入。</p>	
消防団 第13分団	<p>○三ツ谷、市山新田を管轄。</p> <p>○水消火器やAEDなど、消防隊員ほか大勢の方と毎年変化をつけた防災訓練を行っている。継続していきたい。</p>	<p>○基本的な訓練を行いつつも、マンネリ化しないよう少しずつメニューを変える。(ファシリテーター)</p>
消防団 第14分団	<p>○笹原地区を管轄。</p> <p>○消防団の人数は少ないが、地域と密に連携をとり防災訓練、地域の人を守る練習などを実施。</p> <p>○若者不在を地区の皆がカバーしている。</p>	<p>○連携が取れていることは当たり前のようにでなかなかできない。まとまりのある地区だと思う。(ファシリテーター)</p>
坂小学校	<p>○年4回避難訓練を実施。幼稚園とも連携している。</p> <p>○校舎、体育館、運動場などその時一番安全な場所に避難することが大事。子ども達・職員にも臨機応変な対応を考えさせたい。</p> <p>○学校の備蓄食糧は少ないが地域のきずなで何とかかなと思っている。プロパンガスなので炊き出し可能。</p> <p>○消火用タンクは飲用水として使用可能だが、濾過して初めて飲む。</p> <p>○本校はヘリコプターの発着場。</p> <p>○災害が発生時、けが人が保健室に来ることが想定されるが応急処置用の医療品は学校にはまったくない。</p> <p>○AEDは設置されている。</p> <p>○冬場は毛布不足が懸念される。</p> <p>○地区の非常用食糧、水、医療品、プロパ</p>	<p>○前回の防災会議で職員不在時に災害が発生した場合、鍵をどうするか話題になった。話をつめたい。</p> <p>○地区でもプロパンガスなのか、</p> <p>○浄水器の所在場所を知りたい。</p> <p>○グラウンドに車を入れない約束事を作りたい。</p> <p>○学校に医療品ストックが必要。</p> <p>○非常時には病院から医者に来てもらい搬送指示、応急処置等が出来ないか。</p> <p>○組織がたて横、うまく働くよう</p>

	<p>ンガス使用場所等の把握、ヘリコプター発着や、坂小への医者手配等の指示を出すコーディネーター役は誰がやるのかなど把握する必要がある。</p>	<p>な事案場所になるといい。</p> <p>○地域のきずなで簡単に解決する部分と、体系的に整えていかなければならない部分がある。次回は校区の協議会という形で話をつめていけるとよい。(ファシリテーター)</p>
坂幼稚園	<p>○幼稚園でも毎月避難訓練を実施。地震、地震から火災になった場合を想定。</p> <p>○2回は小学校と連携し、合同引き取り訓練、水消火器訓練を実施。</p> <p>○幼稚園は地震発生時崖崩れが心配。</p> <p>○水、少しのカンパンと甘いものを防災リュックの中に常備。</p> <p>○家庭で災害が発生した時には、連絡を取り、安否確認することも職務の一つ。</p> <p>○幼稚園にAED設置、訓練実施。</p>	<p>○揺れがおさまったら小学校へ避難する。</p> <p>○幼稚園と小学校が連携していくといい (ファシリテーター)</p>
老人クラブ	<p>○三ツ谷は組織もしっかりし、子どもたちが面倒をみってくれるので問題ない。</p>	
民生委員	<p>○年1回高齢者、要支援者に聞き取り調査を実施。</p> <p>○坂地区は各地区1人ずつ民生委員がいてスムーズにいつている。</p> <p>○箱根坂のように家具の固定など、各地区で個人個人に徹底していくといい。</p>	<p>○他地区の事例で参考になるものは、自分の地区にどんどん取り入れてほしい。(ファシリテーター)</p>
ファシリテーター	<p>○避難所の体制作り、地域との連携などについて色々な課題が出されている。</p>	<p>○今後検討が必要。このような会議を通じて少しずつでも進んでいくといい。</p>
◆第2部「市長との座談会」		
市長	<p>●静岡県第4次被害想定では南海トラフの巨大地震や神奈川県西部の地震など色々なケースを想定。</p> <p>●自宅が全壊・半壊・焼失した方は避難所生活を、自宅が使用可能ならば自宅生活を送る。</p> <p>●三島は大火が懸念される。坂地区は山火事の可能性があるので初期消火が大事。</p> <p>●三島市内に救急車は4台のみ(人口3万人に1台)。自主防災会で建物の下敷きに</p>	<p>●三島市の被害想定を参考にしてほしい。</p> <p>●「大切な家族の命は守れます！」(広報みしま4月1日号で配布済)、「災害時市民行動計画」を各町内で確認・徹底してほしい。</p> <p>●避難所単位での訓練をリーダー研修会で行ったので、各町内出席者から話を聞いてほしい。</p> <p>●避難所の指揮命令系統に関して</p>

	<p>なった人を救出・搬送する。自分たちの地域は自分たちで守ることが基本。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●錦田小に救護所が設置される。軽症の方が対象。 ●坂地区は消防団OBも多い。災害時にはチェーンソーやトラクター、車のジャッキ等が有効。 ●消防団の役割は救出救助ではなく消火。 ●坂地区の避難所は坂小体育館。 	<p>は、坂小で防災協議会が開催されている。9月頃第二回が開催される。田邊会長を先頭に各町内責任者と避難所運営の具体的な話し合いをしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浄水器は坂小にある。町内、校区で集まり定期的に訓練してほしい。
老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ○昔から地域全体で子どもを育てている。 ○きずなが生まれる地域づくりを考えるのは本当にいいこと。 	○話し合いの結果を部落に持っていくとスムーズに行く。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ●坂地区は高齢者が多い。高齢者や災害弱者をどう救助・搬送するかが課題。 ●災害弱者、高齢一人暮らしの方と合わせて要援護者2,800人余の名簿を作成した。市に名簿を取りに来た時笛を渡している ●災害対策基本法が改正され、災害弱者の名簿を市が作成することになった。災害時には個人情報保護の枠を外して名簿をもとに救出救助活動が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練時笛を実際に吹いて欲しい。 ●各町内で黄色い旗・ハンカチを使用した防災訓練を検討してほしい。
体育振興会	○災害発生時一番大事なことは自助。自分が助からないと、他を助けることは出来ない。	
体育振興会	○個人的に大きな発電機を2台用意した。周りの方に明かりを分けられるのではないかと思う。	●近所の方にその明かりで色々とサポートできる。
笹原町内会	○備蓄も大事だが、どこに逃げるかの想定も必要。	
箱根坂自治会	○AEDは、実際に必要なときすぐに持ち出させてもらえるのか。箱根坂の場合、一番近いのは公民館。	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時は声をかけ借りられる。 ●町中など色々な場面で有り得る話。市でも情報発信していく。
笹原町内会	○毎日防災を考えていては生活できないが、訓練日だけでなく何か考えたい。	●災害は忘れた頃にやってくる。日ごろの訓練が大事。
子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ○勉強になった。色々見直しをしていく。 ○災害時の連絡方法は話し合っていない。 	●171の伝言ダイヤルを確認しておいて欲しい。
体育振興会	○皆さんの意見を参考に用意するもの、家族と話し合うべきことなどしっかりやっ	

	ていきたい。	
子ども会	○備蓄食糧は賞味期限がわかるよう工夫。 ○7日分の備蓄ということなので多めに用意し、余裕があれば皆で分け合いたい。	●食糧7日分は大変なので3日分用意できればいい。何より水の備蓄が重要。
市山新田 自治会	○防災倉庫を整理した。 ○市山公民館を避難所として使えるよう非常食、毛布、浄水器等揃え始めた。	○今年も少しずつ揃えていく。
山中町内会	○山中は山の上で何かあれば陸の孤島になってしまう地域。同じ錦田でも坂地域と平坦な地域では課題が違う。 ○坂地区は非常にきずなが強い。それを基礎に取組を進めれば、大災害でも何とかなるのではないかな。	○情報収集と情報発信をどのようにするか、具体的、実践的に知りたい。 ○実際に地区と行政で防災訓練を行うことも必要ではないか。 ●危機管理課で検討する。
市長	●情報伝達訓練は大事。 ●市からは同報無線、FM三島ヴォイスキューで情報伝達する。 ●避難所本部と市の連絡は坂小体育館にある無線を使用する。 ●避難所本部と各町内の連絡は場合によっては、オートバイあるいは携帯電話。	●働きに出ている人との連絡体制は、それぞれの家庭でしっかり話し合って欲しい。 ●無線のある場所を確認しておいてほしい。
市山新田 自治会	○体育館に避難する場合、校長先生の言われた通り全体のリーダーを育てた方がいいのか。	●防災委員会でよく話し合って欲しい。
三ツ谷自治会	○先日、避難所の図上訓練を実施した。色々勉強・検討しなければいけない。各地区長と携帯電話等で連絡しあい、情報収集できるようにしたい。	●今後、地区長同士で話し合い、決定したことをそれぞれの地区へ持ち帰ってもらいたい。
市長	●坂地区は大きく変わろうとしている。フルーツパーク、大つり橋、市場、三ツ谷工業団地など。笹原山中バイパスも30年までには完成する。	●避難所運営についての各区長同士での話し合いをふまえ、次回話題にさせていただきたい。 ●坂地区が安心安全で素晴らしい地域になることを願っている。